

北斎 肉筆の 宇宙

生きるが如く 描く

※会期延長
2023.4.29(土) - 12.27(水)
Digital × 北斎【急章】
(その1)

会場 NTTインターコミュニケーション・センター[ICC] ギャラリーE
〒163-1404 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー4階
京王新線「初台駅」東口から徒歩2分

時間 11:00～18:00 (入場は17:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日もしくは振替休日の場合翌日、5月1日は開館)、
保守点検日(8月6日)

入場料 一般・大学生 1,000円(800円)
※()内は15名様以上の団体料金
※障害者手帳をお持ちの方および付添1名、
65歳以上の方と高校生以下(当日身分証明書のご提示を
お願いいたします)、ICC年間パスポートをお持ちの方は無料。
※チケットはオンラインにてご予約・ご購入ください。
詳細はこちら <https://www.ntt-east.co.jp/art/hokusai-kyusyo1/>



お問い合わせ e-mail bunka-ml@east.ntt.co.jp 電話 ☎ 0120-114-677

主催 東日本電信電話株式会社
企画・運営 株式会社NTT ArtTechnology
監修 久保田巖(株式会社アルステクネ 代表取締役社長)
企画協力 市村次夫(北斎館 理事長)
協力 株式会社アルステクネ、北斎館、岩松院、山梨県立博物館、
公益財団法人似鳥文化財団、株式会社Goolight





- 1:《神奈川沖浪裏》(部分) 山梨県立博物館
- 2:《富士越龍》(部分) 北斎館
- 3:《白拍子》(部分) 北斎館
- 4:《菊園》(部分) 北斎館
- 5:《柳下傘持美人》(部分) 北斎館
- 6:《肉筆画帖 塩鮭と白鼠》(部分) 北斎館
- 7:《肉筆画帖 ほととぎす》(部分) 北斎館

《肉筆画帖 鮎》(部分) 北斎館



革新する力～多様性をもたらす技術と革新

森羅万象を描こうとした北斎は、「富嶽三十六景」で風景錦絵という新しい波を起こし、その後天保5年(1834年)75歳で発行された「富嶽百景」を機に心新たに「画狂老人卅」の号を名乗り、浮世絵を離れ、普遍的題材を肉筆画で描く道を進みます。

「……故に八十才にしては益々進み 九十才にして猶(なお)其(その)奥意を極め 一百歳にしてまさに神妙ならん歟 百有十歳にしては一点一格にして生るがごとくならん 願わくは長寿の君子 予が言の妄ならざるを見たまふべし」(「富嶽百景」の跋文)

有名な北斎の言葉ですが、北斎は「一点一格にして生るがごとく」つまり、まるで生きているような絵、絵に命をもたらすように描くことを目標としていたのではないのでしょうか。

神は細部に宿るという言葉があります。北斎の肉筆画は、大胆な構図や描写はもとより、多様な題材を描きつつ、異様に細密で計算された構図や意匠、こだわった絵具の選択、繊細な反射や凹凸表現などが用いられています。そこには作品が見る位置やライティングにより変容して見えることを意識し、様々な技法を取り入れ、応用し発想する革新性が見てとれます。

「Digital×北斎」シリーズ第4弾となる本展覧会では、幅広い題材の北斎作品を通し、高精細デジタル化によってこれまでご覧いただけなかった技法や工夫などの作品細部の情報を明らかにするとともに、北斎が目指した「生きるが如き絵」の真髄、その独自性、革新性に迫ります。



《雲龍園》(部分) 似鳥美術館



《肉筆画帖 鷹匠の鷹》(部分) 北斎館

《肉筆画帖 ゆきのしたと蛙》(部分) 北斎館



《花和尚圖》(部分) 似鳥美術館

関連企画:岩松院本堂天井絵「鳳凰図」展示

NTT 東日本・初台本社ビル 1階ロビー

1/2縮小版の高精細複製画を展示しています。空中に投影された操作画面を非接触で操作し、鳳凰図を拡大してモニターで鑑賞する「フローティング・ギガ・ビューワー」や小布施町の街並みや観光名所などの魅力を伝える映像、小布施町の特産品なども展示しております。

【期間】

展示中～2024年3月29日(金)

平日10時～17時

NTT東日本・初台本社

〒163-8019東京都新宿区西新宿

3-19-2

https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20230303_01.html



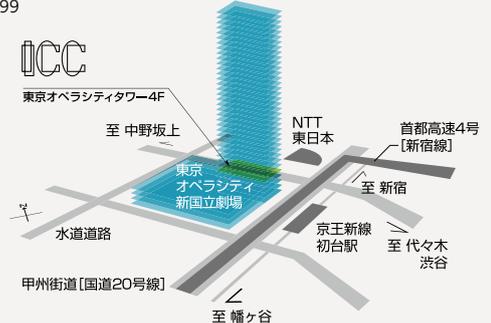
《岩松院本堂天井絵「鳳凰図」》岩松院

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]

〒163-1404 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー4階(京王新線「初台駅」東口から徒歩2分)

お問い合わせ ☎ 0120-144199



<https://www.ntticc.or.jp/>



NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]は、日本の電話事業100周年(1990年)の記念事業として1997年4月19日、東京/西新宿・東京オペラシティタワーにオープンしたNTT東日本が運営する文化施設です。ICCは「コミュニケーション」というテーマを軸に科学技術と芸術文化の対話を促進し、豊かな未来社会を構想していきます。

K23-02481 [2309-2312]